中小企業等におけるDX人材の育成

現在、社会環境・ビジネス環境の変化に対応すべく、企業・組織を中心に社会全体のDX(デジタルトランスフォーメーション)が進んでいます。これに対応するためには、年代・職種を問わず、働き手一人ひとりがDXに参画し、デジタル技術を活用したプロセスの改善や、デジタルを活用しやすい組織づくりに取り組むことが重要となります。

生産性向上人材育成支援センターでは、生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から「DX対応コース」を選定し、中小企業・事業主団体等の"DX人材の育成"を支援しています。



を支援しています!

DX対応コースの概要

共

通領

域

つの

課

題

生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から、訓練目的・分野による分類とは別に、DX推進に向けたスタートコース、ネットワーク・セキュリティに関するコースを選定し、共通領域として設定しました。また、DXに向けた3つの課題を設定し、それぞれの課題解決に対応したコースを選定・分類しています。

DX推進に向けたスタートコース

DXの推進に必要な知識や導入事例を知りたい
⇒【バックオフィス分野】DXの推進

ネットワーク・セキュリティに関するコース

社内ネットワークのセキュリティ対策を進めたい ⇒【倫理・セキュリティ分野】脅威情報とセキュリティ対策

デジタル化と新しい生活様式の課題への対応コース

自社業務に適切なITツールを選定したい
⇒【バックオフィス分野】ITツールを活用した業務改善

業務プロセスの課題への対応コース

システム化に伴うコストの考え方を知りたい

⇒【バックオフィス分野】失敗しない社内システム導入

ビジネスモデルの課題への対応コース

IoTによるビジネス環境の変化や動向を知りたい ⇒【組織マネジメント分野】IoTを活用したビジネスモデル

- ○受講対象者 事業主の指示を受けた在職者の方
- ○訓練日数・時間 おおむね1~5日 (4~30時間)
- ○受講料(1人あたり・税込) 2,200円~6,600円
- ○訓練会場 自社会議室等を訓練会場とすること が可能です(講師を派遣します)



訓練受講までの流れ

課題や方策の整理 センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースの コーディネート

相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

訓練受講 所定の期日までに受講料の支払い等の手続を行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

W JEED

独立行政法人高齡·障害·求職者雇用支援機構

Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

~生産性向上人材育成支援センター(生産性センター)は、事業主の皆様の生産性向上に向けた人材育成を支援しています~

2024.12

DX対応コース一覧 全61コース (2024年12月現在)

DX推進に向けたスタートコース **4**コース

119 DXの推進

117 DXの導入

126 DX人材育成の進め方

129 製造分野における D X 推進

ネットワーク・セキュリティに関するコース 8コース

021 IoT導入に係る情報セキュリティ 057 ネット炎上時のトラブル対応 099 社内ネットワークに役立つ管理手法 116 情報漏えいの原因と対応・対策

040 eビジネスにおけるリーガルリスク 098 ワイヤレス環境に必要となる無線LANセキュリティ 115 脅威情報とセキュリティ対策 125 テレワークに対応したセキュリティ対策

デジタル化と新しい生活様式 の課題への対応

19コース

業務プロセスの

課題への対応

23コース

009 POSシステムの活用技術

056 ITツールを活用した業務改善

091 企業内でIT活用を推進するために 必要な技術理解

092 企業内でIT活用を推進するために 必要なマネジメント

095 ビッグデータ活用

055 RPAを活用した業務効率化・コス 卜削減

096 RPA活用

牛

産

プ

セ

ス

മ

改

断

的

課 題

売

上

げ

増

加

083 テレワークを活用した業務効率化

088 テレワーク活用

120 データサイエンス入門

130 経理業務の効率化につながるDX の実践

007 在庫管理システムの導入

016 物流のIT化

013 流通システム設計

014 物流システム設計

012 卸売業・サービス業の販売戦略

018 クラウド活用入門

020 クラウドを活用したシステム導入

054 クラウドを活用した情報共有能力 の拡充

093 IT新技術による業務改善

094 AI(人工知能)活用

090 失敗しない社内システム導入

087 導入コストを抑えるクラウド会 計・モバイルPOSレジ活用

ビジネスモデルの 課題への対応

7コース

015 3PLとSCM

017 SCMの現状と将来展望

019 IoT活用によるビジネス展開 089 データ活用で進める業務連携

118 ベンダーマネジメントカの向上

122 テレワーク業務における労務管理

022 IoTを活用したビジネスモデル 121 ビジネスとSDGs(持続可能な 開発目標) の融合

123 オンライン営業技術

027 マーケティング志向の営業活動の 分析と改善

028 統計データ解析とコンセプトメイ キング

046 インターネットマーケティングの 活用

036 プロモーションとチャネル戦略

047 チャンスをつかむインターネット ビジネス

029 顧客分析手法

045 顧客満足向上のためのCS調査

とデータ分析

103 効率よく分析するためのデータ 集計

104 ピボットテーブルを活用した データ分析

105 品質管理に役立つグラフ活用

106 表計算ソフトを活用した統計 データ解析

114 SNSを活用した情報発信

124 オンラインプレゼンテーション

107 表計算ソフトのマクロによる定型 業務の自動化

108 データベースを活用したデータ 処理 (基本編)

109 データベースを活用したデータ 処理 (応用編)

110 データベースを活用した高度な データ処理

Ι T 業 務 改

善